

記者発表資料

令和4年1月17日

担当 宮城県農業高等学校

教頭 長内 志郎

TEL 022-384-2511

教育長表敬訪問について

農業高等学校の生徒の作文が下記の内容で受賞したことにより、教育長を表敬訪問することになりましたので、お知らせいたします。

記

- 1 訪問日 令和4年1月19日(水) 午後4時から午後4時30分まで
- 2 場所 行政庁舎16階 教育委員会会議室
- 3 受賞内容等

「職業教育の日」制定記念 第17回全国高校生・高等専修学校生「私のしごと」作文コンクール 文部科学大臣賞(最高賞)

イ 受賞者 目黒 花織 (食品化学科 2年)

ロ 作文内容 テーマ 好きな仕事で 夢をかなえる!

作文題 2ccで繋がる命のバトン

姉が7年前に白血病を患い、骨髄移植を経て長い期間の闘病生活を乗り越えた。家族や多くの方々の支えのもと病と向き合い、3年間の治療の結果病を克服した姉の姿を見て、自分も将来骨髄バンクのコーディネーターになりたいという大きな目標を抱いた。

幼い頃の体験をもとに、命の大切さと将来の決意について思いのままに力強く表現した内容が評価され、応募校87校、応募総数3,122点の作品の中から、最高賞となる文部科学大臣賞を受賞した。

「職業教育の日」制定記念第17回全国高校生・高等専修学校生「私のしごと」作文コンクールについて

- 1 主催 特定非営利活動法人仕事への架け橋 後援：文部科学省，東京都教育委員会ほか
- 2 応募資格 高校生・高等専修学校生(学年不問) ※2021年4月1日現在で満22歳以下の者
- 3 審査方法 第一次審査…高校や高等専修学校の国語，社会担当教員らが当たり，応募作品の中から約80編を入賞作品としてノミネートする。
第二次審査…後援をいただいた行政をはじめ，教育関係団体長及びNPO法人仕事への架け橋の役員らが厳正に審査し，入賞作品を決定する。(1)文章力・表現力 (2)創造性・独創性(3)着眼点及び話題性(4)将来性・発展性(5)可能性・実現性などを総合的かつ公平に審査する。
- 4 内容
 1. 高校生や高等専修学校生に「職業」や「仕事」について考える機会と発表の場を提供し，若者の職業観や勤労観を育成する。
 2. 高等学校，高等専修学校の先生や生徒，その保護者に職業教育の大切さをアピールし，「職業教育の日」(7月11日)を社会に定着させる。
 3. 将来の目標を定めて，専門知識や技術・技能の習得を目指す高校生や高等専修学校生に，自分の目標や夢を再確認させるとともに，夢をかなえるための学習を奨励する。
 4. 社会環境の変化や情報化の進展により，若者の文章力が低下しており，正しく美しい日本語で自己主張できる文章力を身につけさせる。

※ 取材される場合は前日までに担当まで連絡をお願いします。